

和暦	西暦	12代西村年齢	号	発行月	発行日	12代西村總左衛門の出来事	京都美術協会発行の雑誌における12代西村の活動	京都美術協会発行の雑誌に掲載された新作の12代西村作品（製）	京都美術協会発行の雑誌および京都帝室博物館発行の展覧会図録に掲載された12代西村所蔵の所蔵品（作）	京都美術協会発行の雑誌における補足事項
安政2年	1855	1				5月25日、三國編纂の三男として出生。幼名、第三郎。				
明治5年	1872	18				5月24日 三國直業（12代西村總左衛門）が西村家に入籍した。				
明治6年	1873	19				（日付不明） 青山邸所造営に際し、染織利権に関する内部装飾調整の御下命を賜った。				
明治7年	1874	20				（日付不明） 吹上御所謁見所の室内の壁面装飾（菓物の図）調整の御下命を賜った。				
明治8年	1875	21								
明治9年	1876	22								
明治10年	1877	23				9月23日 大橋重右衛門の次男が西村家に入籍し、親右衛門を名乗った。 （日付不明） 12代西村總左衛門が第四十九回立憲行刺にあたり犠牲に当選した。				
明治11年	1878	24								
明治12年	1879	25				11月16日 12代西村總左衛門が大橋重右衛門の長女シナと結婚した。				
明治13年	1880	26								
明治14年	1881	27								
明治15年	1882	28								
明治16年	1883	29								
明治17年	1884	30								
明治18年	1885	31								
明治19年	1886	32								
明治20年	1887	33								
明治21年	1888	34								
明治22年	1889	35								
明治23年	1890	36	1	10	5	（日付不明） 12代西村總左衛門に眞鍮賞章が授与された。	<p>（『京都美術雑誌』新刊）</p> <p>○發會/本会の発会式が1月9日に、東山の建仁寺方式において実施され、幹事に西村總左衛門他らが選出された。（編）</p> <p>○寄附金/本会の各役員が同会に寄付し、西村總左衛門は金20円の寄付をした。（編）</p> <p>○三月陳列會/給茶茶室陳列會が3月15日に、有楽館において開催された。来場者285名。西村總左衛門は、2件の古画を出品した（古画の彫出品55件）。（作）</p> <p>○五月陳列會/染織美術陳列會が5月10日に、有楽館において開催された。来場者250名。西村總左衛門は、5件の新染物、1件の古彫刻、2件の参考品を出品した。三國編纂は、2件の古彫刻を出品した（新染物の彫出品24件、参考古彫刻の彫出品108件）。（製）（作）（編）</p> <p>○七月陳列會/織物陳列會が7月6日に、河原町二條下ル常盤において開催された。来場者約210名。西村總左衛門は、新織物1件、新織物（刺繍）2件を出品した。高橋宇兵衛は、古織物（刺繍）1件を出品した。（製）（作）（編）</p>	<p>○五月陳列會（製）/新染物における西村總左衛門の出品：（茶色七寶松糸帯襦）評価：「精巧」、（壁紙二重地茶帯春掛及秋巻）評価：「油漣部鳥花弁配色仕上り花楓襦/露ニシ」、（襦袢地嵐山ノ露草高一丈）評価：「多方位ナリ花楓精巧欠ク」、（壁紙二重紗地二重紗綾羅紗竹節有輪襦袢ノ襦袢）評価：「配色麗美共ニ優美精緻奪目出品中ノ上乗」、（壁紙二重地紗綾羅紗襦十五ノ次輪襦襦ノ襦袢）評価：「染方ノ巧ハ前者ニ比ヘテ殊ルヲ覺テ圖様配色共ニ畫題ニメ前者ト全ク異ナレドモ亦上乘タルヲ失セズ」</p> <p>○七月陳列會（製）/新織物における西村總左衛門の出品：（襦袢雲山楓見送り）2枚 評価：「型六尺紗襦三尺京都ニ於テ全山嵐山織ノ絶ルヲ思ヒ往年京府應ヨリ西陣織工ヲ勤シテ製造セシメ第二回内閣勳業博覽會へ出品セシモノニ費用ト時間ヲ惜マズ苦心經營シテ成ナレハ襦袢ノ配製難ク淡合等異ニ嘆賞スヘシ」。新織物において出品：（縹結子漢二輪ノ襦袢）評価：「縹ル精巧」、（天鵲結縹子漢四角子花ノ丸襦袢）評価：「精緻目ヲ奪フ其刺繍タルヲ覺ヘス」</p> <p>○三月陳列會（作）/参考古物絵画における西村總左衛門の出品：珍寶すべきものとして、円山石堂畫（春夜芭蕉風天馬三輪対）および岩船畫（五益圖）。</p> <p>○五月陳列會（作）/西村總左衛門の出品：珍寶すべきものとして（縹子地秋草二重ノ縹縹入襦袢ノ襦袢）。古彫刻物における西村總左衛門の出品：参考となるべきものとして（羅漢像彫刻ノ座前）（加賀友禪掛軸（巻））（加賀友禪掛軸二巻）、三國編纂の出品：古彫刻において愛すべきものとして、（巻）羅漢像（巻）および（書作白檀ノ羅漢像）。</p> <p>○七月陳列會（作）/西村總左衛門の出品：参考とするべきものとして（天鵲結縹紗）。高橋宇兵衛の出品：古織物において愛すべきものとして（藍色紋縹結小袖）。</p>	<p>○發會（編）/会費を北垣謙三、幹事に結茶英祐、久保田米徳など、評議員に飯田新七や川島甚兵衛など、常設委員に富岡百穂（鉄茶）、岸竹堂、望月玉泉、西村治兵衛などが嘱託を受けた。</p> <p>○寄附金（編）/その他の主な寄附者、金100円：北垣謙三、金30円：三井高保、金20円：幸野保徳、田中利七、三越兵衛、下村庄太郎、西村治兵衛、西村吉右衛門、川島甚兵衛、飯田新七、結茶英祐など。</p> <p>○五月陳列會（編）/その他の主な出品：飯田新七は（天鵲結縹紗）を出品。</p> <p>○七月陳列會（編）/その他の主な出品：飯田新七は（鳥子地縹紗）を出品。評価：「縹縹ノ大襦袢」、新織物として（櫻花小鳥秋草縹紗四枚折屏風一丈）を出品。</p>	
明治24年	1891	37				6月23日 12代西村總左衛門が家督を相続した。大橋重右衛門次男・親右衛門が過世した。 （日付不明） 12代西村總左衛門が京都商議会議所会員に当選した。				
明治25年	1892	38	2	2	25		<p>○総會/昨年（明治24年）4月27日に、有楽館において総会が開催された。規約改訂の協議の他、役員の変更が実施され、西村總左衛門は評議員（総額なし）兼幹事3部に選定された。（編）</p> <p>○商業會審査員（題菊花）/國家奨励の爲に本会内外を対象に広く國家の藝業振興を実施。応募は340余枚。1月陳列會（昨年1月25日上海区河原町二條下ル常盤において）にて応募作を陳列された。1等受賞者には、西村總左衛門製の（本業塩地茶地糸紗雪輪形白袋）および（本業塩地茶地本業無地）各1枚が授与された。（編）</p> <p>○十一月陳列會/11月23日に、織物陳列會が鴨家有楽館において開催された。来場者285名。西村總左衛門は、新織物（刺繍）2件を出品した。（製）（編）</p>	<p>○十一月陳列會（製）/西村總左衛門出品内容と評価：（刺繍一式唐草松樹圓鏡ノ圓鏡）評価：「精美」、（刺繍高尾嵐山ノ圓鏡二面）評価：「精巧」</p>	<p>○総會（編）/飯田新七は評議員兼幹事第三部、西村治兵衛は評議員兼第三部理事、川島甚兵衛は第三部評議員、岸竹堂は常設委員に任命された。</p> <p>○商業會審査員（題菊花）（編）/1等の賞品はその他、清水六兵衛作（色笠り六個入蓋 一組）および清風亭平翠（海苔煎茶々碗 五個）、受賞者は1等：杉田安之助、西田玉春、田中中庵、物澤柳外の4名。2等：飯田新七製（更紗染木綿一丈）など、3等：西村治兵衛製（第二重ハツカテーフ三枚一枚）など。</p> <p>○十一月陳列會（編）/飯田新七は（友禪一式）（帝國書堂玉座掛軸）、西村治兵衛は（縹紗及雙慶織女帯）を出品した。</p> <p>○商業會第三部（題紅葉）/受賞者は、1等：山崎茂徳、2等：橋本庄二郎、3等：上野清江。</p>	
			5							
			6							
			1	7	10		<p>（『京都美術協会雑誌』に改題）</p> <p>○総會/5月19日午前10時より京都府立専修館校講堂において総会が開催された。総会において出席した会員は約200名。本会名義総長の伏見愛徳王宮下が御臨場された。役員選挙が実施され、西村總左衛門は15点を獲得し、飯田新七（15点）、西村治兵衛（14点）、川島甚兵衛（8点）とともに評議員（計30名）に選定された。5月25日の役員会において幹事および理事選出の投票が実施され、西村總左衛門は9点を獲得し、飯田新七（16点）とともに第3部理事（計2名）に選出された。なお、西村總左衛門は幹事においても3点を獲得し次点となった。（編）</p>			
			2	7	28					<p>○評議員會/7月4日夜に龍池校内において評議員會が開かれた。飯田新七の発議により、大徳寺宝物のひつと五百羅漢の売却について議論された。</p> <p>○製紅藍ノ寄箋/7月8日午後6時より、幹事および評議員等が北垣会館および三井期会館を兼山製紅藍に招待し宴を催した。</p> <p>○玉皇院御持御覽/玉皇院宝物が昨年通り8月1日から31日まで展示を実施しており、高野宗、有藤忠、有田幸助、飯六郎六等以上および博士上士、都立美術室長、篤志者および外国人の観覧者の賑わい、各国外からの紹介者が可能であるため、7月25日までに閉幕を遂げ出す旨が案内省より通告された。</p>
			3	8	28	3月2日、12代西村總左衛門に綠綬賞章が授与された。	○明治二十五年京都市美術工藝品展覧會審査報告/京都市美術工藝品展覧會審査において西村總左衛門は刺繍および友禪染の2部門で審査を務めた。（編）			○明治二十五年京都市美術工藝品展覧會審査報告（編）/刺繍の審査員は他に、飯田政之助、安田宗徳、山脇利兵衛が、友禪染の審査員は他に、西村治兵衛、河合惣之助がそれぞれ務めた。
			4	9	28		○評議員會/本月17日夜、西野町御池池校において、本月25日に開催の第2部陳列會について、幹事および第2部所属の評議員會が開催された。西村總左衛門は審査員委員27名の内の1人に選出された。（編）			○綠綬賞章下賜/川島甚兵衛（京都府京都市下京区） ○評議員會（編）/審査員委員委員27名は他に飯田新七、西村治兵衛が選定された。 ○會員/津九島（上京区新町通九尺町南へ向）は、本誌第3号発行後に入会した。
			5	10	28		○評議員會/10月5日夜、御池学校義塾所において、第3部会（織物刺繍染物糸組物）陳列會について、評議員會が開催された。また、本月10日夜、京都教育会館の依頼による臨時陳列會の開催について事務局において役員會を開催し、17日に御覧（御所）内博覧會場において同陳列會を開催することが決定された。高橋宇兵衛が、大澤敬之、結茶英祐とともに臨時陳列會の委員に選定された。 ○臨時陳列會/本月17日、京都博覧會場の後室において、関西教育大会の懇親會が開催された。その中で開かれた陳列會において西村總左衛門は1件の刺繍作品を出品した。（製）（編）	○臨時陳列會（製）/刺繍作品を出品：（縹子地深藍色沢ノ圓刺縹物扇）評価：「横置三尺八寸横三尺八寸斜リ紗ヲ以テ全幅ヲ埋ム近來ノ大作刺縹ノ技此ニ至リテ精巧ヲ極ム」		○臨時陳列會（編）/その他の主な出品は、川島甚兵衛（製縹秋草縹紗上巻）、飯田新七（天鵲結縹染物）。
			6	11	28		○第三部會新製品展覧會/11月13日、御所内博覧會場において、第三部會刺繍染物糸組物4種の陳列會が開催された。出品総数251件の中、参考品は127件、新製品は124件であった。そのうち、参考品において織物116件、刺繍11件、一方新製品において織物74件、刺繍1件、染物16件が出品された。 ○第三部會新製品展覧會/西村總左衛門が出品した、洋竹堂下駄の刺繍屏風についての評価が掲載された。（製）	○第三部會新製品展覧會（製）/新作の刺繍作品を出品：評価：「西村總左衛門君ノ大扇八、扇中ノ僅數ナリキ、異地ニ刺縹ヲ施シタルモノニテ、下駄ノ竹堂君ノ扇、光澤風ノ畫ニテ、櫻花、藤花、梅花ノ四扇、下ニ水ヲ畫キ、櫻ノ芳艶ナル、藤ノ絳縹ナル、楓ノ縹縹アリテ畫ナル、梅ノ高逸ニシテ清キ、淡彩麗淡相映シ、縹枝以テ字ニ題ヲナスアリ、巨擘以テ字ニ題ヲナスアリ、圓滑ノ妙技、今更テ唯々ヲ奪セト雖モ、出品毎ニ意匠ノ新ナル、工夫ノ珍ナリ、主人が絶エズ心ヲ用ユルニ非レバ、造詣シ得ザル妙味アリ、畫様ノ既ニ秀逸ナルニ加アルニ刺縹ノ精ヲ以テシテ兼テ以テテ、外人君一見セバ僅ニ數百金ヲ授シテ購ヒ去ルヤ疑ヒナシ、下部ノ襦袢ハ、木理ニ寄リ紋様ヲ刺縹シタリ、木理ノ色格々明ニ透ギルノアレト、サリテ何ノ色ヲ以テ之ニ代ヘバ可ナルカ、思ヒ至ラザルヲ以テ考レバ、此ノ色ヨリ更ニ恰好ナルモノハ得難カラザルベシ」		○新製品展覧會/第3部（ママ）陳列會に合わせて募集された、織物刺繍染物糸組物の図案は136件（織物78件、刺繍5件、染物53件）。主な受賞者は1等：内海雨潤（縹物）、2等：小林治三郎（染物）、3等：瀬川清徳（西村治兵衛方）（織物）など。
			7	12	28		○米園博覽會出品/アメリカのシカゴ（米園開闢）万国博覽會に出品予定品一覧が掲載された。農商務省買上委託分として、西村總左衛門は2件を出品予定であった。（製）（編）	○米園博覽會出品（製）/出品予定は2件：（天鵲結縹子地山水花鳥図）（壁紙刺縹縹子地山水花鳥図）		○米園博覽會出品（編）/その他に農商務省買上委託分として、西村治兵衛、飯田新七、川島甚兵衛、岸竹堂、今尾兼年他が出品予定であった。

明治26年	1893	39	8	1	28	○展覧博覧會出品物ノ評判ノ最優秀者にて陳列された。シカゴ(米國國總)万国博覧會への出品予定品が、東京の新聞において批評された。西村總左(右)衛門の出品において、1件の製品についての評価が掲載された。(製) (補)	○展覧博覧會出品物ノ評判(製)ノ西村總左(右)衛門の出品した1件についての評価:「西村總右(左)衛門氏ノ天刀絨友染装束地ハ到底登場モノ作ナンシ水墨透込ノ漢流ヲ染出シテ筆道ニ莫ナラス國様ハ雪舟ノ筆蹟ヨリ得テ遠山ヲ極寫シタルガ如シ」	○展覧博覧會出品物ノ評判(補)ノその他の主な出品に対する評価は以下の通り: 飯田新七製「天寶絨友染装束地ハ國様染法共ニ觀ルベシ」、川島甚兵衛製「緑地花籠籠ノミハ船泊シタルニ足ルベシ」			
			9	2	28	2月20日 12代西村總左衛門の兄である三國一恵の三男、重篤が西村家に入籍した。	○鑑査ノ結果ノシカゴ万国博覧會へ美術品として出品する刺繍6件の内、西村總左衛門は3件を出品した。(製) (補) ○渡航委員ヲ魏スシカゴ万国博覧會の京都出品人渡航船代として、西村總左衛門は、苗木康助、丹羽圭介らとともに、現地へ乗舟初旬または中旬に出発予定である旨を報じられた。	○懇親會ノ會場の北畑道通の東京に伴い、本月4日午後5時に、東山尚歌堂において懇親會が開催され、副会頭、幹事、評議員、常設委員35名が出席した。			
			10	3	28	○西村總左衛門氏ノ名譽ノ西村總左衛門に対する経歴表下欄にともない、「藝苑叢話」に西村總左衛門に関する記事が掲載された。「本月六日、西村總左衛門氏、實動局ニ於テ、實業ニ勉勵セシメテ以テ経歴表ヲ下欄セラレタリ、氏ハ三國國總式ノ三男ニシテ、安政二年ヲ以テ生じ、十八歳ノ時、西村家ニ人家セリ、明治十三年、京都畫學校設立の發起人トナリ、又育英院ノ創立ニ際シテ發起人ノ一トナリ、大ニ盡力スル所アリ、氏ノ製品ニ付キ、従来内外ノ博覧會共進會等ニ於テ賞状ヲ得タルコト、殆ド五十回、今ヤ新定ノ経歴表ヲ圖シ、氏ノ名譽亦大ナラスヤ、ノ京都府京都市下京區三條通角西入御堂町 西村總左衛門ノ子ニシテ實業ニ勉メシ由ニ十枚友染ノ名稱ヲ贈セ給賞品賞ヲリ更ニ室内装飾品ヲ製造シ原料法ヲ研究シ色ハ精細鮮明ノ模倣天織絨ニ似合スルノ品ヲ發明シ或ハ刺繍手巾ノ輸出ヲ計畫ス邦産品ノ露出ヲ欲シ大ニ内人ノ賞賛ヲ得タリ海ニ實業ニ勉勵シ俄ニ大ニ有名トスルガ明治十四年十二月七日自定ノ経歴表ヲ圖シ其裏行ヲ表寫スノ氏ハ今日府民ヨリ米國博覧會出品渡航船代ニ關聯セラル、既ニ實地ニ向テテ出品シタリ、賞状ノ實ヲ受ケトシ、加アルニ露紳ノ賞ヲ以テシ、萬里ノ波濤ヲ乗り、驚天動地ニ豪傑トシ、熱心美術工藝ノ高メ、自ラ體性タルガ甘シムニシテ、既ク此ノ如クナルヲ得シ、吾輩府民タルモノ、深ク氏ヲノ慕フ製メスト共ニ氏ノ功ヲ譽ケントウ望マサルヘラスナリ」	○鑑査ノ結果(製)ノ西村總左衛門は、刺繍大屏風、刺繍扇、友染籠子の3件を美術品として出品した。				
			11	4	28	○總會ノ4月2日に、京都市上京區寺町通松尾町南東部御堂町字校において総會が開かれ、役員の改選が実施された。西村總左衛門は130点を獲得し、飯田新七(140点)、西村治兵衛(120点)、川島甚兵衛(99点) 他とともに、評議員に選出された。なお、新藤守兵衛は落選を獲得した(落選)。 ○評議員會ノ本月15日午後7時から、本会事務所にて評議員會が開催され、幹事理事の改選が実施された。西村總左衛門は13点を獲得し、飯田新七(12点)とともに第3部理事に再選された。		○役員會ノ3月28日午後6時、本会事務所において役員會が開催された。会員投票方式について協議され、西村治兵衛は三吉丈とともに裝飾委員に選定された。			
			12	5	28						
			13	6	28						
			14	7	28			○展覧會ノ本月7日、木曜町三条上ル支橋橋において、英米會の発起人が開かれた。幹事の選挙が行われ、西村治兵衛は雨森福太郎および熊谷久兵衛とともに当選した。さらに、西村治兵衛は会計主任にも選定された。			
			15	8	28			○大規模展覧會ノ純絨ノ川島甚兵衛は、大阪で(市川) 團十郎が出演する大規模展覧會において、使用される絨を私財を投げ打って制作した。大規模の原画は今展覧會の筆によるものである。			
			16	9	28			○川島氏ノ編織ノ評判ノ川島甚兵衛がシカゴ万国博覧會に出品した(日光御園編織)についての批評が、シカゴの「カンベル」会社発行の雜誌に掲載された。			
			17	10	28	○世界大博覧會ニ於テ繪畫ノ受賞者ノアメリカのシカゴデイリートリビューン (Chicago Daily Tribune) 誌上で、シカゴ万国博覧會における各国の受賞者の一人として、西村總左衛門は、飯田新七、川島甚兵衛、岸竹堂、今展覧會他とともに紹介された。		○役員會ノ本月21日午後3時より、木曜町万米寺において、役員會が開催され、本会の第3部陳列會について協議された。同陳列會において懸賞圖案が明(取合懸賞)のテーマで募集されることに決定され、圖案審査委員として、西村治兵衛、飯田新七が選定された。			
			18	11	28	○米國博覧會賞牌ノシカゴ万国博覧會において、刺繍および綴綴の部で西村總左衛門が飯田新七、川島甚兵衛とともに賞牌を獲得し、「政府賞」ノ中華部ニ屬スル製造者(ママ)として、西村總左衛門は飯田新七とともに賞を受けた。 ○第3部陳列會ノ本月19日に、御内内京都美術学校において第3部陳列會が開催された。来場者563人。西村總左(右)衛門は、刺繍1件を出品した(花鳥刺繍ノ雙雀友染染近江八景ノ図)が109件、参考となる美術品の出品数は171件。(製)	○第3部陳列會(製)ノ刺繍の部における西村總左(右)衛門の出品:「刺繍清泉水亭異風地六枚」 評価:「宛に角大作ナリ、油繪ニ類シタリナトノ評も聞ケシカ、至テ美シク精細ナルモノナリ、サレトモ若キ製作トシテハ、中以下ノ輸出ナルヘシ、吾輩ノ何ノ趣味ヲモ認メス」				
			19	12	28						
			明治27年	1894	40	20	1	28	○美術部審査議決シカゴ万国博覧會における日本の美術部審査員である執行弘通による、博覧會に関する議決において、日本美術部陳列品のなかで海外の審査員から好評を得ているものが紹介され、織物刺繍分野においては、飯田(新七)の(友染化粧室ノ図)および川島(甚兵衛)の(錦織花籠ノ図)とともに、西村(總左衛門?)の(花鳥刺繍ノ雙雀友染染近江八景ノ図)が挙げられた。		
						21	2	28		○名家ノ屏風ノ米年の大博覧會(第4回内閣勲業博覧會)に出品予定の作品のDとして、岸竹堂(生鳥)(八枚折屏風細地ベタ圖)が紹介された。	○川島甚兵衛の名譽ノ川島甚兵衛は、ロシアのニコライ・アレクサンドロヴィチ皇太子より、御用達の称号を授けられた。本誌にはその許状の日本語訳が掲載された。
						22	3	28			
						23	4	28	○工藝品展覧會審査部長ノ工芸品展覧會の出品審査部長のひとつとして、西村總左衛門は刺繍部長に選定された。(補)		○工藝品展覧會審査部長(補)ノ審査顧問に山高信藤京都帝室博物館長が嘱託され、織物部長に飯田新七、友染及染物部長に石田甚兵衛が選定された。 ○布金會規約ノ辻信次郎、並河清之、内貫基三郎、西村治兵衛、雨森福太郎等が南禅寺境内の金地院の建物保存を目的に布金會を組織し、規約案を作成した。 ○スボルツング氏ノ京都市を訪問したアメリカのシカゴ博物館の委員スボルツング氏が、中井弘京都府知事の紹介により、雨森福太郎、飯田新七、池田清助、鏡山山守兵衛と晚餐をとらした。
						24	5	28	○役員改選投票ノ5月19日に、京都府立尋常師範学校講堂で開催された総会において、役員の改選投票が実施され、中井弘会頭(松方正義選外)および三井八郎次郎会頭のもと、西村總左衛門は122点を獲得し、飯田新七(126点)、西村治兵衛(120点)、川島甚兵衛(89点)らとともに評議員に当選した。		○工藝品展覧會受賞者ノ等賞ノ刺繍部 飯田新七、2等賞:友染染物部 西村治兵衛。なお、評議員の西村治兵衛は、会員形として答辞を述べた。
						25	6	28	○審査報告ノ本年、御用(京都御所)において、開催された工芸品展覧會審査報告書の刺繍部論において、西村總左衛門について掲載された。展覧會において、西村總左衛門は、刺繍に関する審査部審査部長を務めたが、出品に関しては、シカゴ万国博覧會の渡航委員としての業務による多忙を理由に見合わせた。また、西村總左衛門は同会の刺繍の出品に対して評価を以下の通りで寄せた。飯田新七(藍染地雪中松刺繍掛軸) 評価:「意匠良好ニシテ松刺繍畫ノ針法細密トスベシ」。真田金次郎(金地刺繍掛軸) 評価:「青年ノ技ニシテ此方アリ致々吾ラザレバ巧織ニ至ルベシ」。所出市永衛(藍子繡掛軸) 評価:「意匠配色佳ニシテ年月ニ法ヲラハ完好ナルベシ」。赤田隆次郎(茶縹子繡小翠苑高鳥紗地) 評価:「技術意匠俱ニ品ムベシ」。渡邊清吉(藍子地刺繍長巻掛軸) 評価:「技術意匠俱ニ品ムベシ」。吉田健吉(藍子子繡掛軸) 評価:「意匠技藝俱ニ品ムベシ」。本木康助(藍染地刺繍有職掛軸) 評価:「技術意匠俱ニ品ムベシ」。渡邊エエ(藍子地刺繍長巻掛軸) 評価:「技術意匠俱ニ品ムベシ」。藤井博次郎(藍染地刺繍長巻掛軸) 評価:「技術意匠俱ニ品ムベシ」。内貫清兵衛(藍染友染刺繍三羽鶴鳥紗地) 評価:「技術意匠俱ニ品ムベシ」。山内文助(長濱織成田相良刺繍) 評価:「意匠陳美ナレ共技術佳ナリ」。田中利七(藍色子繡子地刺繍長巻掛軸) 評価:「針法巧織ニシテ圖案麗シカラズ」。渡邊エン(刺繍同面鏡月夜富士図筆立) 評価:「技術良好ニシテ夏季清涼ノ具ニ適セン」。船越ウタ(藍染刺繍刺繍二千鳥図半掛) 評価:「針法巧織ニシテ婦女ノ嗜好ニ適セン」(補)		○審査報告(補)ノ織物部審査部長は飯田新七が務め、評決を行った。主な例:西村治兵衛(薄色茶縹刺繍掛軸) 評価:「配色清淡ニシテ技術力優ナリ」。西村總左衛門はその他、友染及染物部門に(元禄時代御機掛軸地友染掛軸)を出品し、以下の評価を賞阿兵衛より受けた。『技術精熟ナリ模様シテ小ナラシムハ完好ナラン』。
						26	7	28			
27	8	28						○關西府聯合共進會受賞式ノ金沢市が開催の聯合共進會において、飯田新七は(蘭紗女)にて1等賞(賞金250円)を、川島甚兵衛が(女伴服地)3等賞(賞金7円)を獲得した。			
28	9	28						○農業者ノ富家に養育委員が組織され、西村治兵衛は、内貫基三郎他とともに賛助員として名を連ねた。			
29	10	28				○役員會ノ本月26日午後2時より、御内内京都美術学校にて第3部陳列會に関する役員會が開かれ、圖案懸賞の題目を以下の通りで決定した。織物女帯地「鶴、取合懸賞」、刺繍鳥紗「富貴長命図」、友染模倣「今様歌巻巻の誕生」、糸繡物「鳥紗の姫」、「紋布の姫」。西村總左衛門は飯田新七、西村治兵衛らとともに、圖案審査員に選定された。					
30	11	28				○第3部陳列會ノ本月18日、九條第一帝國博物館長は開場前に来館、さらに東本願寺門主および渡邊京府知事も参観して、品評が行われた。西村總左衛門の出品物に対しては陳列品3件、参考品1件について品評された。(製) (作) (補)	○第3部陳列會(製)ノ西村總左衛門出品物に対する品評:陳列品の部(刺繍懸架松下の双鹿)(渡邊伝吉氏編)、評価:「洋畫の彩色法を則として遠近明暗實際を寫し速く望めは刺繍の製と認めす其下繪は日本の古畫を模せるものにて唯水彩の用法によりて然らしむるものなりと聞く甚甚に感佩の作」。陳子刺繍草花模倣掛軸(藤井玉洲下絵)、評価:「草花は芍薬にして其四瓣は草地に百練の刺繍なり形体の地は淡色の如くにして同家の主人に米匡へ渡航し室内裝飾を感て居る處あり更に意匠を綴りて彩色の配合を製したるもの、由其應用の如きは奢る人もあり初め其美を知らんのみ」。藍染友染掛軸、評価:「白地刺繍の模様を綴交せり品格温厚」	○第3部陳列會(作)ノ西村總左衛門出品物に対する品評:参考古物品の部(蘭紗支那官服)、評価:「月藍色縹地は同種中の精品と目すべきものなり昔遊藝英傑と稱するもの大抵縹地藍縹色(スベイド)の物にして此の如く精工刺繍の如きは月藍色の地に際る如く見口世人衆の三五五爪を以て品を軒軽すれども随分刺繍の衣類に用ひし物は五爪より複製作の精粗を以て察す可きのみ此品の如きは眞の官服なるべし」	○第3部陳列會(補)ノ本月18日、本会第3部陳列會が南禅寺の金地院において開かれた。西村治兵衛の出品:「藍染地門形松に富士鳥紗」(安藤末吉氏編工)、「白地茶縹女帯地」。飯田新七の出品:「藍染地友染掛軸」。(天織刺繍友染花鳥図掛軸)。(藍染友染掛軸掛軸)の掛軸(谷口香晴氏編、村上甚兵衛氏編)。(女帯地)。		
31	12	28				○時代品展覧會ノ明治28年4月より、御内内の博覧會場において開催される時代品展覧會にて、西村總左衛門は裝飾委員の嘱託を、飯田新七とともに受けた。(補)		○時代品展覧會(補)ノ出品万葉および裝飾委員の嘱託を西村治兵衛が受けた。			

明治39年	1906	52	3	2	15	2月20日、清藤宇兵衛没する(70歳)。	(「京都美術」に改題) ○役員會/明治38年11月1日午後5時、京都俱樂部において、役員會が開催された。西村總左衛門は西村治兵衛、今尾(京年)他とともに出席した。第11回新古今美術品展覧會の開催が決定された。同展覧會に係る陳列設計および予算編成に関する調査委員の設置が定められた。調査委員には、高藤宇兵衛、飯田新七、今尾豊年他が任命された。 ○調査委員會/11月8日午後5時、京都俱樂部において、調査委員が開かれ、高藤(宇兵衛)が飯田(新七)、今尾(豊年)他とともに出席した。 ○役員會/12月3日午後5時より、京都俱樂部において、役員會が開催された。西村總左衛門は、西村治兵衛、飯田(新七)、川島(基兵衛)とともに出席した。 ○委員電託/12月27日、第11回新古今美術品展覧會の出品奨励委員が電託された。新製品出品奨励委員主任の金子錦二のもと、西村總左衛門は第7部(繪物、刺繍、染物)の副委員長を電託された。高藤宇兵衛は、第7部の審査員の電託を受けた。(編) ○陳列場貸付/12月8日午前9時より、各部主任の本館展示室視察のため、西村總左衛門は、主任の金子(錦二)、飯田(新七)他とともに出席した。 ○委員會/12月12日午後5時より、京都俱樂部において、委員會(第七部、繪物、刺繍、染物)が開催された。西村總左衛門および高藤宇兵衛は、西村治兵衛、飯田(新七)他とともに出席し、陳列の配置を決定した。				○役員會/12月17日午後6時、京都俱樂部において、役員會が開催された。飯田(新七)、川島(基兵衛)他、約30名が出席した。美術新聞社請求に係る寄附金への五年償還について協議された。 ○委員電託(編)/その他の第11回新古今美術品展覧會の出品奨励委員について、西村治兵衛は第7部(繪物、刺繍、染物)の五部主任、飯田新七は同部の繪物主任、広岡伊兵衛は同部の染物主任のそれぞれ電託を受けた。今尾豊年は、第1部(繪画)の主任に電託された。(第2部(陶器、漆器)には、主任の神坂雪佳のもと、谷口喜博、竹内橋風が電託を受けた。)
			4	6	15	○神楽解説 色輪水指 乾山作 西村總左衛門所蔵/本号の巻頭挿絵ページに西村總左衛門所蔵の水指が掲載された。(作) ○審査及鑑査員電託/3月27日、第11回新古今美術品展覧會の審査および鑑査員が電託された。法学博士の木下高次審査員のもと、西村總左衛門は第7部副委員長を電託を、主任の丹羽圭介、また田中利七、飯田新七、神坂雪佳とともに受けた。(編) ○主任會/3月28日午後1時より、(岡崎町美術館)本館構内の受付室において、(第11回新古今美術品展覧會に係る)新製品部主任會が開催された。西村總左衛門は、西村治兵衛、飯田(新七)他とともに出席し、陳列方法等について協議した。 ○出版部會/4月27日午前10時より、(第11回新古今美術品展覧會に係る)第2部から第3部の比較審査會が開催され、西村總左衛門は、西村治兵衛、飯田(新七)他とともに出席した。 ○賞状授与式/5月10日午前11時、第11回新古今美術品展覧會の賞状授与式が挙行された。西村總左衛門は審査員を務めたことによる、出品作への審査評定に伴い、西村治兵衛、川島基兵衛、今尾豊年、神坂雪佳他とともに授状が贈られた。授状の本文：「本會開設の新古今美術品展覧會に精力的に出品せられたる貴方の出品の陳列の一層の光彩を添えたる役當定の至なりて茲に授状ヲ贈呈シ其特色を表す 明治三十九年五月十日 京都美術協會 役三佐藤二等 大森健一」(編)			○審査及鑑査員電託(編)/今尾豊年は繪画部の主任の電託を受けた。第7部繪物部には、主任の金子錦二のもと、飯田新七他が電託された。染物部は、主任の丹羽圭介のもと、西村治兵衛、下村正太郎他が電託された。第2部漆器部および陶器部の審査員は、主任の丹羽圭介のもと、谷口喜博、神坂雪佳、沢田正一、竹内橋風が電託された。 ○審査會/4月5日、(岡崎町美術館)本館構内の受付室において、審査総會が開催され、西村治兵衛、今尾(豊年)他が出席した。 ○電告/4月14日午前10時より、第3部から第5部のうち、陶磁器および七宝以外の最終審査が実施され、飯田新七他が出席した。 ○審査/4月21日午前11時、第7部のうち、染物の審査が実施され、丹羽圭介のもと、西村(治兵衛)他が出席した。 ○審査/4月23日午後1時より、第7部の繪物および刺繍の審査が実施され、飯田(新七)他が出席した。 ○賞状授与式(編)/出品人順代として飯田新七が賞状を述べた。また「出品奨励」の形を授けられた。西村治兵衛、飯田新七他が、賞金30円を獲得した。展覧會場内の五部活動の陳列において、数種の出品があったとして、飯田新七が賞状を授けられた。 ○第11回新古今美術品展覧會審査員/受賞者について、美術工芸部において1等賞を飯田新七(繪物 舟燈子織 女帯地)および(刺繍 瀧田四曲屏風)、西村治兵衛(染物 金糸刺繍友禅染 相忠筆)が受賞した。4等賞を上野清江(漆器 書置 漆器 五部勾の意 陶器)が獲得した。美術部において、2等賞(1等賞該当なし)を木島櫻谷(繪画 奔馬)が受賞した。 ○新作品三種/第11回新古今美術品展覧會に出品された飯田新七(刺繍 瀧田四曲屏風)について、挿絵および解説が掲載された。		
			5	8	25						
			6	12	5						
			7								
			8								
			9								
			10								
			11								
			12								
			13								
			14								
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
26											
27											
28											
29											
30											
31											
32											
33											
34											
35											
36											
37											
38											
39											
40											
41											
42											
43											
44											
45											
46											
47											
48											
49											
50											
51											
52											
53											
54											
55											
56											
57											
58											
59											
60											
61											
62											
63											
64											
65											
66											
67											
68											
69											
70											
71											
72											
73											
74											
75											
76											
77											
78											
79											
80											
81											
82											
83											
84											
85											
86											
87											
88											
89											
90											
91											
92											
93											
94											
95											
96											
97											
98											
99											
100											

